

○ 窒素肥料の効率的利用による環境負荷軽減に向けた国際研究プログラム

【令和7年度予算概算決定額 39 (37)百万円】

<対策のポイント>

我が国が世界の研究をリードするBNI技術を活用した作物の開発や栽培体系の確立を推進し、国際農業研究機関と我が国の研究機関が一体となって、窒素肥料の利用の効率化や環境負荷の軽減を推進します。

<事業目標>

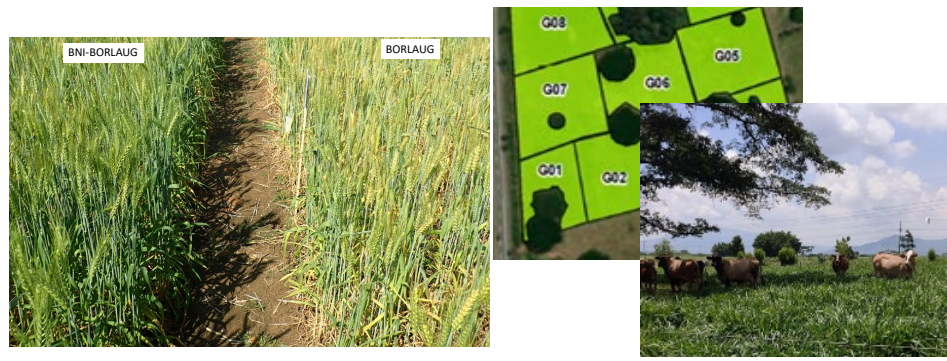
- 土壌特性の異なる地域向けの新たなBNI強化コムギを5系統以上作出 [令和10年度まで]
- GHG排出を3割削減する放牧管理システム1件及び炭素クレジット獲得のためのプロトコル1件の開発 [令和9年度まで]



<事業の内容>

1. 我が国が世界をリードする生物学的硝化抑制（BNI）の研究分野において、グローバルサウスの各国に適応したBNI強化作物の開発や、同作物を活用した栽培体系の確立を通じて、同地域の窒素肥料施肥量や環境負荷の軽減に向けての取組を推進します。
2. TICAD9（日本）やCOP30（ブラジル）等の国際会議の場を活用し、国際農業研究機関と我が国の研究機関が一体となった取組を情報発信します。

<事業イメージ>



新たなBNI強化コムギ

BNI牧草を活用した放牧管理システム

我が国の研究機関と一体になった取組の情報発信

<事業の流れ>



期待される効果

- 国際連携により、多様なBNI強化作物の開発・活用を促進
- 窒素肥料の利用効率化と環境負荷の軽減
- 世界の農業の持続的な生産性向上への貢献

【お問い合わせ先】 (1) 輸出・国際局新興地域グループ (03-3502-5913)
(2) 農林水産技術会議事務局国際研究官室 (03-3502-7466)